

2025 年度春季大会優秀講演発表賞受賞者

2025 年度春季大会は、2025 年 5 月 28 日(水)~30 日(金)の 3 日間、京都大学 宇治キャンパス 宇治おうばくプラザで開催しました。学生会員の講演発表のうち、下記の 9 名の学生会員に優秀講演発表賞を授与することが決定致しました。

池 端 杏 樹 (豊橋技術科学大学)

「エアロゾルデポジション法における成膜効率の改善を目指した原料粉末の最適化設計」

大 路 淳 矢 (東北大学)

「ジントル化合物 KBaBi の合成、結晶構造解析および熱電特性評価」

小 出 倫太朗 (京都大学)

「軟磁性体スピネルフェライト $\text{Mn}_x\text{Fe}_{3-x}\text{O}_4$ の磁気異方性」

鈴 木 隆 之 (豊橋技術科学大学)

「高圧ねじり加工により構造若返りした Zr 系金属ガラスの緩和挙動と引張特性」

田 鍋 航 希 (京都大学)

「無容器法により作製した希土類高含有ガラスの光学特性」

藤 嶋 太 (京都大学)

「 TiO_2 キャップ層を用いた VO_2 薄膜へのプロトン脱挿入の制御」

森 垣 竣 (鳥取大学)

「積層造形した高酸素チタン合金の組織と力学特性・抗菌性」

森 川 滉 太 (名古屋工業大学)

「遊星ボールミル中の自転・公転を制御した発光性ハライドペロブスカイトのメカノケミカル合成」

CHOI HARIM (名古屋大学)

「Analysis of alignment and segmentation of $\text{Nd}_{70}\text{Cu}_{30}$ - $\text{Nd}_2\text{Fe}_{14}\text{B}$ alloys by deforming」

(総評)

今春季大会全体の発表申込件数は 115 件、優秀講演発表賞への応募講演は 40 件でした。

発表の構成や準備の丁寧さ、質疑応答での対応力が光る一方、データの整理、時間配分などに課題が見られる講演もありました。

今大会で得た経験を基に、さらに研究内容を深め、発表の洗練が図られることを期待します。

(一社) 粉体粉末冶金協会 会長 尾崎由紀子